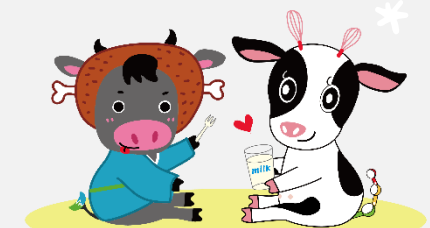




標茶町は、2050年における標茶町森林や林業・林産業のあるべき姿・目指すべき姿を、地域の木材加工事業者・森林組合・種苗業者・森林管理事業者・教育機関・高校生と共に考え「森林ビジョン」を作成しました。

町面積の54%を占める森林は、私たちや、そこに生息する多様な生物にとって、かけがえのない存在です。

自然と共に生きてきた先人たちの想いを引き継ぎ、今を生きる私たちが、次の世代に誇れる森を、みんなで考え、みんなでつくっていきます。



標茶町森林ビジョン検討プロセス

標茶町森林ビジョン検討委員会立ち上げ

森林ビジョン検討委員会メンバー

森林組合	標茶町森林組合様
木材加工事業者	有限会社北海林産様 株式会社不二木材様
種苗業者	有限会社谷口種苗農園様
森林管理事業者	明盛建設株式会社様
教育機関	京都大学フィールド科学教育研究センター北海道研究林様
高校生	北海道標茶高等学校様
オブザーバー	釧路総合振興局 産業振興部様 釧路総合振興局 森林室様 株式会社北洋銀行様 道南森づくりの会様(第2回) 野生生物総合研究所様(第3回)
事務局	標茶町役場 北海道共創パートナーズ

第1回 討議会

林産業を未来につなぐ



第2回 討議会

林業の魅力向上と次世代の担い手確保



第3回 討議会

脱炭素・生物多様性・防災の観点から 未来の標茶町森林のあるべき姿を考える



目指すべき姿・進むべき方向性

- ・ 木材の地産地消を推進し、新たな林産業の開発に取り組む事で、標茶町の林産業を次世代につなげる。
- ・ そのために、森林組合・地域の木材加工事業者・標茶町役場の3者が集まり議論する場を継続的に設ける。

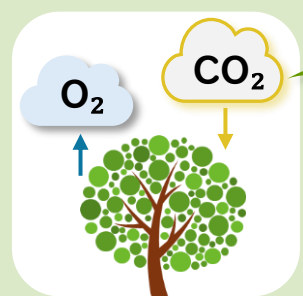
- ・ 世代交代が進み、若い林業従事者が多く活躍している。
- ・ 林業が魅力ある事業として認識され、次世代を担う人材が多く育っている。

- ・ 樹木の若返りや成長促進を図る事でCO2吸収量が最大化されている森林。
- ・ 樹木の根が深く広く発達し、土壌を保持する能力や浸透・保水能力の高い、優れた防災機能を発揮する森林。
- ・ 多様な生態系が維持されて多様な種類・遺伝子の在来種が生息している森林。



重要取り組みテーマ		取り組みアプローチ	関連するSDGs
経済	① 木材の地産地消	✓ 標茶町森林組合、木材加工事業者、標茶町役場による、定例的な会議体の継続 ✓ 域内木材加工事業者が町産材を購入する際の費用補助制度新設の検討 ✓ 町内における森林生育状況の把握・データ化 ✓ 未立木地への植樹の取り組み ✓ 木材安定供給のための林道・作業道等の整備	
	② 森づくりの担い手育成	✓ 林業・林産業及び山林の魅力発信 ✓ 地域おこし協力隊との連携強化 ✓ 林政・林業DXの推進	
社会	③ 森林の防災機能強化	✓ 標茶町森林整備計画に基づく森林施業の徹底 ✓ 森林の果たす水源涵養や防災機能に関する教育活動の推進	
	④ 生物多様性保全	✓ 生物多様性ゾーニングに基づく森林施業の実施 ✓ 地域の人たちに森林の果たす役割について知ってもらう環境教育イベントの実施	
環境	⑤ 森林のCO2吸収量最大化	✓ 森林の若返りを進める計画的な森林施業展開	
	⑥ 水質の保全	✓ 野生生物の生息域や、水質保全を目的とした、河川周辺の植林実施	

森林クレジットを活用し
標茶町有林施業の結果
増加したCO2吸収量を価値化



各種取り組みの財源として活用

森林環境贈与税

